

OT NEWS

Vol.01 (創刊号)
2026 Autumn

The Arts
of Living Well



私たちの
4年間。

作業療法士になるまでの4年間。
学生たちは何を知り、何を感じ、
何を経験するのか。
今、長期の実習に臨もうとしている
3年生の様子もぞいてみました。



1年生

人とくらしを知る。



基礎的な知識や技術を学びながら、
クラスメイトと協力しあい、
人のくらしや作業の意味を知る
ところからスタートします。

2年生

知識を使ってみる。



グループワークや演習で、
専門的知識を深め、
学んだことを実際に使ってみる
OUT PUT学習が始まります。

3年生

考えて、試して、磨く。



現場に出て、経験を重ね、
一人ひとりの課題に向き合い、
「自分にできること」を考え、
専門性を高めていきます。

4年生

自分の作業療法を創る。



卒業研究や国試対策を通して、
これまでの学びを統合し、
自分らしい作業療法を形にして
社会へと歩み出します。

教育のコンセプト

自分らしい作業療法士になる
4年間。

一人ひとりの「好き」や「想い」を大切に、
学び、考え、経験し、未来をつくっていく。

学びのポイント

4つの力が、自分らしい作業療法をつくる



人を思いやり
寄り添う力



心身・くらしを
理解し、考える力



知識を実践に
つなげる力



仲間・教員
地域とつながる力

Education =
Heart + Head +
Hands + Home

OT NEWS 今号のトピックス

9月末、3年生はじめての長期実習がスタート!

「大丈夫かな。」が、今の本音。

長期実習を目前に控えた3年生。
授業で学んだことを思い出しながら、
クラスメイトや教員と確認し合っていました。

「次、どうするんだっけ?」

「何に気を付けた方がいいかな?」

笑顔で受け答えしても、きっと心の中は少し不安。

でも、こうやって仲間や教員と対話して、

教え合って、またやってみる。

実習が始まる前から、学びは始まっています。



STUDENT VOICE

クラスメイトと居ると安心ですが、一人
で居ると少し不安。でも、授業で教わっ
た実践的な知識を使ってみたい。そして、
自分に足りない部分を、日々の臨床実
習でたくさん吸収したいです。 学生R



TEACHER'S NOTE

「臨床実習で、教員が見ていること」

実習の進捗だけでなく、健康や指導者との関係、不安や悩み、つまず
きにも目を向けます。思ったことを自分の言葉で表現できているかも大
切にしています。わが子を送り出すようなさみしさと、自分らしい作業療
法を発見できる期待が入り混じる気持ちで見守っています。教員M